



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX 052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>

「木の芽お越し」の雨と3月の暖かい日差しに「シブヤの庭」の植物は春の訪れを感じ取り冬芽が一斉に芽吹き始め、花の季節へとスタートを切りました。

3月3日の「ひな祭り」には、親族一同やお子さんのお友達を招いてのパーティーで、一足早い春をすごされた方も多かったのではないのでしょうか。

この時期になると気になるのが桜の開花時期です。名古屋の開花予想はエルニーニョ現象の影響で暖冬だったため花芽の「休眠打破」が10日ほど遅くなることから、開花もやや遅くなると思われていました。しかし、その後も暖かさが続き休眠打破の遅れを取り戻すほど花芽の生長が早くなり、名古屋の開花予想は平年より1日早い、3月25日とのこと。

今年も入園、入学式は満開の桜の下、あるいは桜舞い散る春の陽光の中ということになりそうです。

一方、この春の暖かさと春風ともにピークがやってくる「花粉症」に悩まされている方も多いことと思います。花粉症の処方薬の服用が眠気を誘い注意力散漫を招くこともあるようです。



今年度・74期も1ヶ月を残すのみとなりました。現場管理、車の運転には十分に気をつけ、忙しい年度末を無事故で乗り切りましょう。

春先の庭は花が少なくちょっと寂しい。凍てつく寒さの中で咲き続けてくれた水仙もおわり、庭を彩るのはウメ、ボケ、ツバキ。それでも早春の庭のボタンの古木には大きな花芽が。植物は枯れたような枝先の花芽を少しづつふくらませ、春爛漫の時をめざし、開花の準備をすすめています。サクラ、ボタン、コデマリ、クレマチス、バラ、ギボシ・・・などが次々と花を咲かせる準備をしています。

【ISO14001掲示板】

プラスチックごみやマイクロプラスチックによる海の汚染が、生態系に影響を及ぼすことが世界的に問題になっています。それをうけて企業がプラスチック製ストローの使用を中止し始めています。私たちは使い捨てプラスチックをどう減らすのか、考えてみましょう。 参考資料：朝日新聞デジタル

国連環境計画の報告書では、1人あたりの使い捨てプラスチックごみの発出量は、米国が世界1位、日本は2位です。昨年6月にカナダで行われたG7で、プラスチックごみの削減目標を掲げるための「海洋プラスチック憲章」が話し合われ、イギリスやフランス、ドイツ、イタリア、カナダが憲章にサインし、アメリカと日本とはサインしなかった。という記事を「NewsECO10月号」に掲載しました。日本がサインしなかった理由は、「市民の生活や、会社などの活動への影響」を調べるといったものでした。

全世界で1年間におよそ3億トンのプラスチックが作られ、そのうち800万トン以上が、海に流れ込んでいるといわれています。海洋国家を自負する日本としてはなんとも説得力の無い理由による憲章への署名保留は国内からも政府に対し批判が出ました。その後の1年が経過し、日本の取組みはどうなったのでしょうか。日本政府は、今年6月に日本で開かれる主要20カ国・地域（G20）首脳会議までに、包括的な戦略「プラスチック資源循環戦略」を策定中です。案では、レジ袋の有料義務化や30年までに使い捨てプラスチック排出量の25%削減を打ち出しています。数値目標はG20で示されるかもしれませんが具体的な方策がレジ袋の有料義務化では「付け焼刃」といわざるをえません。どのような方法でプラスチック製品、容器を回収するかを考えるべきで、有料化が廃棄を抑制する有効策とは考えられません。

ノルウェーやスウェーデンでは飲料製品の価格に容器のペットボトルやビンの預かり金を上乗せし、回収時に返金するデポジット制度を導入しています。

プラスチック容器をポイ捨てるのが問題であり、消費者はポイ捨てによって生じる環境への影響を知り、国は適切な資源回収と廃棄がライフサイクルに自然に組み込まれていく環境教育、社会教育を行っていくべきです。

消費者は廃棄プラスチックが引起している環境破壊を理解し、リサイクルを心がけ、「ポイ捨ては絶対にしない」ことの実践と呼びかけを徹底すべきでしょう。

【内部監査日程】

【内部監査日程】 3月18日～3月29日

被監査部門	予定日	監査リーダー	監査員
管理責任者	3月19日	甲 和之	中村美佳
総務・財務・管理	3月20日	木村 恒嘉	三宅 勇介
技術部	3月22日	李 永平	岩間 誉史
営業企画部	3月22日	吉津 敏幸	安藤 知英
静岡支店	3月22日	高橋 智一	高田友紀子
浜松支店	3月22日	脇田 恵	久米 隼人
岐阜支店	3月28日	竹内 寿	渡邊 健太
三河営業所	3月29日	玉田 康弘	中村 美暢
小牧事業所	3月19日	渡邊 敦洋	北川美由紀

※詳細日程・時間は監査リーダーと被監査部門で最終確認願います。

74期・後期の内部監査を3月18日から3月29日、監査後チームリーダー会議を4月10日の日程で実施します。監査員、被監査部門の方々には年度末、年度初めの忙しい中ですがご協力をお願いします。監査はこれまでの内部監査、外部審査での結果を参考に、改善すべき事項が全社に水平展開され各部門でプロセスが有効に機能しているかの審査となります。

＜監査目的＞

- ◎今期の部門目標の達成状況と結果を踏まえて改善点を見出し、より良いプロセスを確立するための監査です。
- ◎システムへの適合性だけでなく有効性の観点から
 - ・「年間目標の達成度とその要因の分析」の状況と課題
 - ・「内部監査、外部審査での“改善の機会”への対応」の状況を重点に監査を行います。

＜内部監査以降の日程＞

- ◎監査後チームリーダー会議
日時 2019年4月10日 13時00分～
場所 本社会議室
- ◎マネジメントレビュー
日時 2019年4月18日 15時00分～
場所 本社会議室